

進路だより

入間市立豊岡中学校 第3学年

第3号 令和5年4月27日発行

—今こそ「自立」の力を鍛える時—

あさってからGWが始まりますね。どのような生活を送るか考えていますか？つい時間があるので、ゲームをしたり動画を見たり…。しかし、これ、危険ですよ。ゲームや動画以外何もしないうちに1日があっという間に過ぎてしまいます。いつも学校で「スクールライフを書きなさい」「計画を立てて生活をしなさい」と言っていますが、すごく大切ですよ。だからこそ、ゲームをする時間、動画を見る時間、勉強する時間、運動する時間など、自分で決めてしっかり生活してください。今こそ「自立」の力が求められ、鍛えられる時です。この進路だよりでは、これからも少しずつ、入試に向けての情報を伝えていきたいと思えます。

■県公立高校の合格ってどう決めるの？

県公立高校の合否は、ざっくりいうと

「**学力検査(当日のテストの点数) + 調査書の点 + その他(面接の点)**」の合計点で決まります。

しかし、「通知表の成績をどのくらいの割合でみるか」や「面接の点数を何点にするか」などの選抜基準は学校によって違い、例年7月頃にその基準が発表されます。

裏面に載せたのは、昨年度の県立豊岡高校の選抜基準です。

まず初めに「選抜の基本方針」をしっかりと読んでください。豊岡高校は、「選抜の基本方針」で

- (1) 学力検査の結果を調査書の結果より重視し選抜する。
- (2) 面接を実施し、受検生の高校生活への意欲・態度を積極的に評価する。
- (3) 「特別活動の記録」の部活動・生徒会活動等に積極的に取り組んだ者の選抜に配慮する。

とっています。その上で、「選抜資料」を次のようにみる、と具体的にかかれています。

「学習の記録は1年、2年、3年を1:1:3の割合でみる。」

例えば、Aさんの通知表の評定の9教科の合計が1年…40、2年…40、3年…40だとすると、学習の記録は $40+40+120=200$ 点として加算されるということです。(この割合は高校によって違います)

そこに、「生徒会長なら□点、漢字検定準2級なら△点、部長ならば☆点」など、特別活動などの記録が点数化されて加算されます。(何を何点にするかなども高校によって違います)

また、昨年度面接は50点満点でした。(面接を何点にするかも高校によって違います)

当日の学力検査の点数にこれらを足したものを選抜資料としてみる。

このように、皆さんの中学校3年間の頑張りがすべて数値化され、それらの合計で合否が決まるのです。「3年になったら頑張ればいい」と思う人もいるかもしれませんが、このように1、2年からのすべてが含まれます。もちろん3年から挽回できることもたくさんあります。「そのためにも、何を頑張った方がいいのか」がこれを見ると少し明確になります。この基準は高校によって違い、昨年度のものは各高校のホームページで見ることができます。興味のある学校のものをごひ見てください!もしわからないことや不安なことがあったら、学校にいつでも連絡ください!